

## モデルコース③ 塩山松里 歴史の道を育てた水的路

### 笛吹川から水を導くセギの知恵と、豊かな水に支えられた文化・暮らしを見つめる

国指定名勝である恵林寺庭園は、後に京都の龍安寺庭園、西芳寺(苔寺)庭園を作庭する禅僧、夢窓疎石56歳当時の作とされ、甲斐国内で造営された寺院庭園に大きな影響を与えました。700年の時を経た美しい築山と池泉が、四季折々の魅力を伝えてくれます。この池に湛えられた水は、どこからやって来るのでしょうか。甲州では用水路を「セギ(堰)」と呼びますが、ここ塩山地域には笛吹川から取水する3本(藤木、小屋敷、井尻)のセギが縦横に張り巡らされ、河岸段丘上の土地に豊かな水を供給しています。恵林寺庭園に用いられる水も、小屋敷セギから取水されたものです。

セギは塩山地域にすだれ状の水路網を形成し、水路の両脇に農家が建ち並ぶなど、この地の景観を形作る骨格となっています。その水は人々の生活・生業を支えるだけでなく、庭園に代表される寺社文化の成立基盤ともなりました。

**コース概要**

**SG 塩山駅**  
 距離：約13km/所要時間：約7時間(塩山駅南口前から電動レンタサイクル利用)  
 ※甲州市レンタサイクル「ぐるりん」(返却20時まで) 詳細は事業者Webサイトへ  
 塩山駅から放光寺方面へ、往路やや登り(標高差50m程度)

**その他 関連情報**

塩山周辺を散策したい → 塩山松里ルート(峡東ワインリゾートマップ)  
 恵林寺と信玄ゆかりの里コース(甲州市フットパス)

塩山駅周辺の歴史資源を詳しく知りたい → 駅から歩いて寺社めぐり 塩山駅(観光推進機構)  
 金山衆の里(塩山駅南)(甲州市 U+koshu)

花、芸術などテーマで散策したい → ある〜こしょう信玄の里コース、一葉の里コース、  
 ザゼン草の里コース(甲州市観光協会)



**塩山温泉**  
 塩ノ山の東南麓に位置する温泉郷で、向嶽寺を開いた抜隊得勝が温泉を発見したといわれています。温泉郷は明治時代まで向嶽寺により管理され、1724(享保9)年の「上於曾村村鑑明細帳」によれば門前には16軒の湯宿があり、入浴客は年間1万人を超えていました。明治時代創業の旅館「廣友館」の裏手からは、自然遊歩道を通して標高553mの塩ノ山に登ることもできます。



**向嶽寺**  
 武田信成から寺領を寄進を受けた禅僧・抜隊得勝が結んだ草庵「向嶽庵」が、1547(天文16)年に後奈良天皇の勅願寺「向嶽寺」となりました。山号である塩ノ山の山裾を利用した向嶽寺庭園(国指定名勝)は、同山の治山治水を兼ね作庭されたものと考えられており、発掘調査によりかつては小屋敷セギの水を流していたことが分かっています。  
 ※特別公開日を除き、諸堂・庭園とも非公開



**武士原集落**  
 古くは「仏師原」とも記されました。集落内には秩父往還本道の一部が通過しており、石垣が残る古道脇の石仏や馬頭観音、土塀や門の佇まいが、往時の風景を彷彿とさせます。養蚕に適したやぐら造りの民家は甲府盆地に特有の建築で、屋根の中央を持ち上げて2階部分の採光と通風を確保する工夫がなされています。11〜12月には軒下などに枯露柿を干す風景も見られます。

**井尻セギ**  
 隣接する旧塩山地区のほか、山梨市域まで水を供給する現役の水路です。文献上は1708(宝永5)年の古図面に取水口の記録が残りますが、水路が条里制に沿うことから、律令時代(7世紀)にはセギが存在していたとも考えられています。

**安田稲荷神社**  
 この地域から進出・活躍した甲斐源氏、安田義定を安田稲荷大明神として祀ります。境内には丸石道祖神のほか、かつての井尻セギの流路跡が残ります。段丘の端部に立地しており、境内西側は笛吹川に向かって落ち込む崖線となっています。



**竜海寺跡**  
 放光寺の末寺でしたが廃寺となり、現在は墓石や庚申塔が数基残るのみとなっています。このうち四手青面金剛像と2体の猿を刻んだ庚申塔には「右川浦道 左西保道」と刻まれており、秩父往還の道標としても用いられた様子が伺えます。川浦道は川浦地区を通過する秩父往還の別名です。西保は秩父裏街道の途中にある地区で、秩父裏街道は「西保海道」とも呼ばれました。



**恵林寺**  
 1330(元徳2)年、牧ノ庄の領主であった二階堂貞藤が屋敷の一画を寄進し、開山に夢窓疎石を迎えて創建しました。恵林寺は甲斐国の臨済禅林文化の一大拠点となり、武田信玄は名僧・快川紹喜を招き、ここを自身の菩提寺に定めました。1582(天正10)年に織田軍の焼き討ちを受けます。このとき快川紹喜が遺した碧巖録の一節「安禪不必須山水 滅却心頭火自涼」はよく知られています。



**放光寺**  
 1184(元暦元)年に安田義定が創建したとされ、安田一門の菩提寺となった真言宗寺院です。義定は源平合戦で活躍した甲斐源氏のひとりです。四季折々の花が咲く「花の寺」としても知られ、境内には小屋敷セギの水が引かれています。武田信玄の祈願寺として寺領の寄進を受けるなど、武田氏の崇敬を集めました。



**藤木・小屋敷セギ**  
 藤木、小屋敷、井尻セギのうち、藤木セギは最も北側に位置します。藤木セギの末端は小屋敷セギに、小屋敷セギの末端は井尻セギにそれぞれ合流し、一帯に豊かな水を供給してきました。

**西藤木の水車**  
 大輪を小屋敷セギに直結させた押し車屋です。江戸時代末期に創設された後、地域の共同水車として用いられ、戦後は放光寺の管理となりました。明治・大正時代の松里地区には30以上の水車があり、セギの流水は動力としても活用されていたようです。

